SPR−700

取扱説明書

ニッシンエレクトロ株式会社

Z180055L3

このたびは、「消音ピアノユニット　ＳＰＲ－７００」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の機能を十分にご理解いただき、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願い申し上げます。
尚、本書の内容は改善のために、予告なしに変更することがあります。

目　　次

１．SPR-700の特長

●お手持ちのピアノに取り付けるだけで､消音ピアノとしてご使用いただけます。

●ワンタッチ操作で、消音ピアノ⇔ ピアノ実音の切り換えができます。

●消音ピアノユニットを取り付けても、鍵盤のタッチは損なわれません。

●ソフトペダル、ダンパーペダル操作が可能です。（オン／オフ式）

●ボタン操作で６音色、鍵盤操作でその他７３音色を選択できます。

●内蔵のメトロノームに合わせて演奏ができます。

●演奏の録音、再生が可能です。また、再生速度の変更も可能です。

●専用ケーブルにてパソコンと接続ができます。パソコン接続により、
本機はＭＩＤＩ音源やＭＩＤＩキーボードとして使用可能です。

●ライン出力によりオーディオ機器との接続ができます。

●最大同時発音数は９０音です。

●高品質のＰＣＭ音源を使用し、生に近い音を実現しています。
ただし、ご使用のピアノとは音色が異なります。

２．使用上のご注意

消音ピアノユニットを末永くご愛用頂くために、次の注意事項を守ってご使用下さい。

●付属されているＡＣアダプタ以外でのご使用や、ＡＣ１００Ｖ以外でのご使用は、絶対におやめ下さい。

●ＡＣアダプタの抜き差しは、コードを引張ったり、ぬれた手では行わないで下さい。また、コードを無理に曲げたり、重い物を乗せないで下さい。

●ＡＣアダプタおよびユニット間の各ケーブルを抜き差しされる場合は、必ず電源をオフにして行って下さい。

●長時間ご使用にならないときは、必ずＡＣアダプタを抜いて下さい。

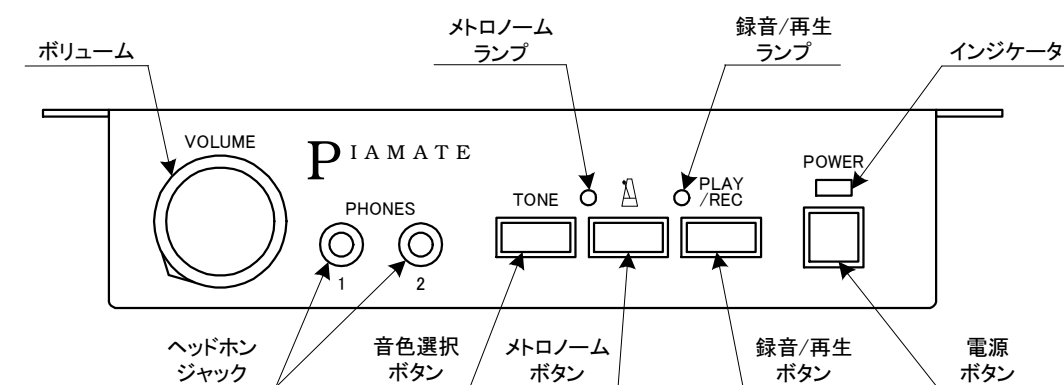
●ヘッドホンプラグの抜き差しは、プラグを持って行って下さい。
無理に力をかけるとコードの断線により音が出なくなることがあります。

●高温多湿な場所は避けて下さい。また、本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。

●強い衝撃を与えたり、異物（硬貨や針金など）または液体（水、ジュース、酒など）を入れないように注意して下さい。

●分解や改造はしないで下さい。

●お手入れの際は、必ずＡＣアダプタをコンセントから抜き、柔らかい布で軽く拭き取って下さい。また、ベンジンやシンナーで拭くことはお避け下さい。

３．各部の名称

音源BOX前面

ボリューム

ヘッドホンの音量、ライン出力の音量を調節します。左に回すと音量が小さくなり、右に回と音量が大きくなります。

ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。同時に２つのヘッドホンが使用できます。

音色選択ボタン

発音する音色を選択します。

Ｐｉａｎｏ１（ピアノ１）
Ｐｉａｎｏ２（ピアノ２）
Ｈｏｎｋｙ－ｔｏｎｋ（ホンキートンクピアノ）
Ｅ．Ｐｉａｎｏ（エレクトリックピアノ）
Ｈａｒｐｓｉｃ（ハープシコード）
Ｏｒｇａｎ（オルガン）

録音/再生ボタン・録音/再生ランプ

録音/再生ボタン

録音/再生を開始、停止するボタンです。

録音/再生ランプ

録音中、再生中をランプで表示します。

メトロノームボタン・メトロノームランプ

メトロノームボタン

メトロノームの設定、開始、停止するボタンです。

メトロノームランプ

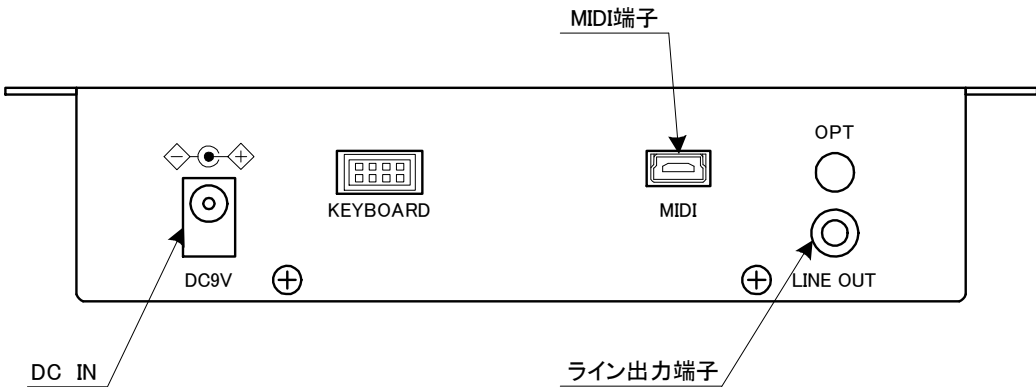
動作中、設定中をランプで表示します。

インジケータ

電源を投入すると点灯します。また、このランプは音源ＢＯＸの発音表示も兼ねており、音源ＢＯＸが発音しているときに点滅します。

電源ボタン

電源のオン/オフを行います。

［注意！］ご使用後は必ず電源をお切り下さい。

音源BOX背面

ＤＣ ＩＮ

付属のＡＣアダプタを接続します。

［注意！］付属品以外のＡＣアダプタは、絶対に使用しないで下さい。

ＭＩＤＩ端子

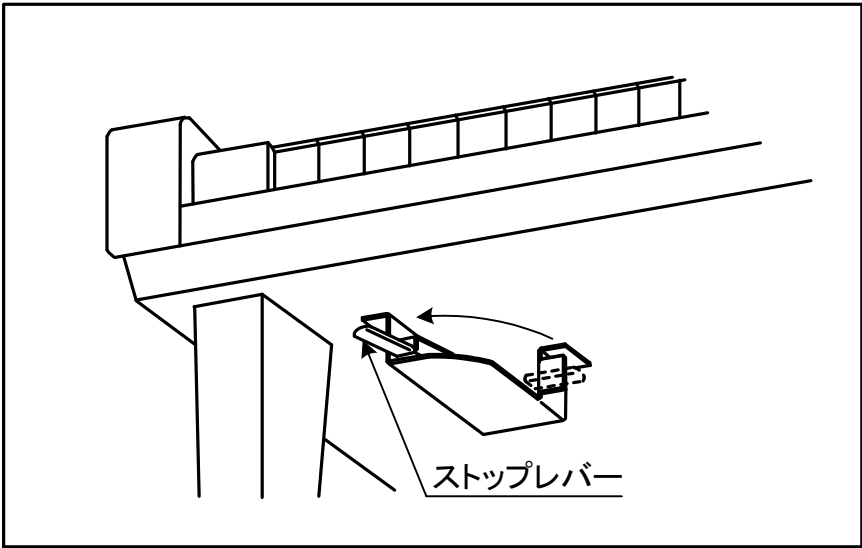
専用ＭＩＤＩケーブルを使用してパソコンと接続できます。

ライン出力

音源ＢＯＸの音を外部オーディオ機器へ出力します。
音源ＢＯＸ前面にあるボリュームにて出力レベルを調節できます。

４．使用方法

本製品は、取り付け完了後に初期設定を実施しなければ、デモ曲の演奏以外は動作致しません。鍵盤やペダルの移動量はユニットを取り付ける場所で異なりますので、その取り付けた場所に最適な鍵盤の発音位置やペダルのオン／オフの位置決めを初期設定で自動的に行います。尚、初期設定は取り付ける技術者や調律師が行います。

（１）ピアノの実音を消すときは、ストップレバーを手前に引きます。
元に戻すと、通常のピアノ演奏ができます。

ストップレバーの操作

（２）ＡＣアダプタがコンセントに差し込まれていることを確認して下さい。

（３）ボリュームが最小であることを確認して、電源ボタンをオンにします。
電源ボタンをオンする際、センサーを最適化しますので、鍵盤やペダルには触れないようにして下さい。

（４）ヘッドホン（付属）をヘッドホンジャックへ接続します。

（５）音色選択ボタンで好みの音色を選択します。

（６）ボリュームをお好みの位置に合わせヘッドホンで演奏をお楽しみ下さい。
尚、ペダル操作は下記のように対応しています。

右側	ダンパー（サスティーン）ペダル	音に余韻が出ます
左側	ソフトペダル	音が柔らかくなります

５．デモ演奏を聴く

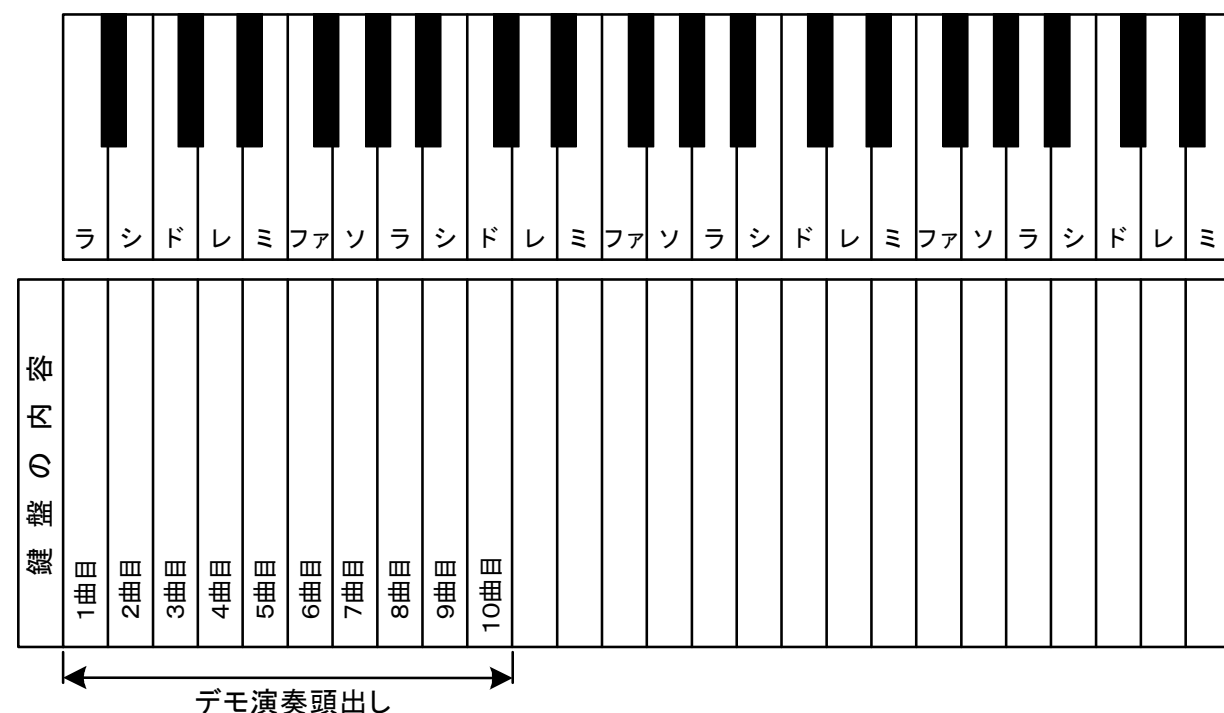
音源ＢＯＸには生演奏を収録したデモ曲が１０曲入っています。

曲順	曲　名	作 曲 者
1	プレリュード(平均律第１巻 第1番)	Ｊ.Ｓ.バッハ
2	エリーゼのために	Ｌ．ｖ．ベートーヴェン
3	月光(第一楽章)	Ｌ．ｖ．ベートーヴェン
4	Shenandoah	アメリカ民謡
5	Danny boy	アイルランド民謡
6	I love you, porgy	ジョージ・ガーシュイン
7	Someday my prince will come	フランク・チャーチル
8	All the things you are	ジェローム・カーン
9	Someone to watch over me	ジョージ・ガーシュイン
１０	My wild irish rose	チャンセラー・オルコット

設定方法

（１）録音/再生ボタンを押しながら電源を入れますと、録音/再生ランプが
　　点灯します。

（２）録音/再生ランプの点灯後、１曲目から順に演奏を開始します。
　　デモ演奏中は下記鍵盤を押すことにより、曲を選択することができます。
　　デモ演奏中は曲を選択する鍵盤以外の鍵盤で演奏が可能です。

（３）デモ演奏を終了する時は、録音/再生ボタンをもう一度押して下さい。

６．音色設定

音源ＢＯＸのボタン操作で６種類の音色を設定することができます。
鍵盤の操作でその他７３種類の音色を設定することができます。

音源ＢＯＸ設定方法（６音色からの選択）

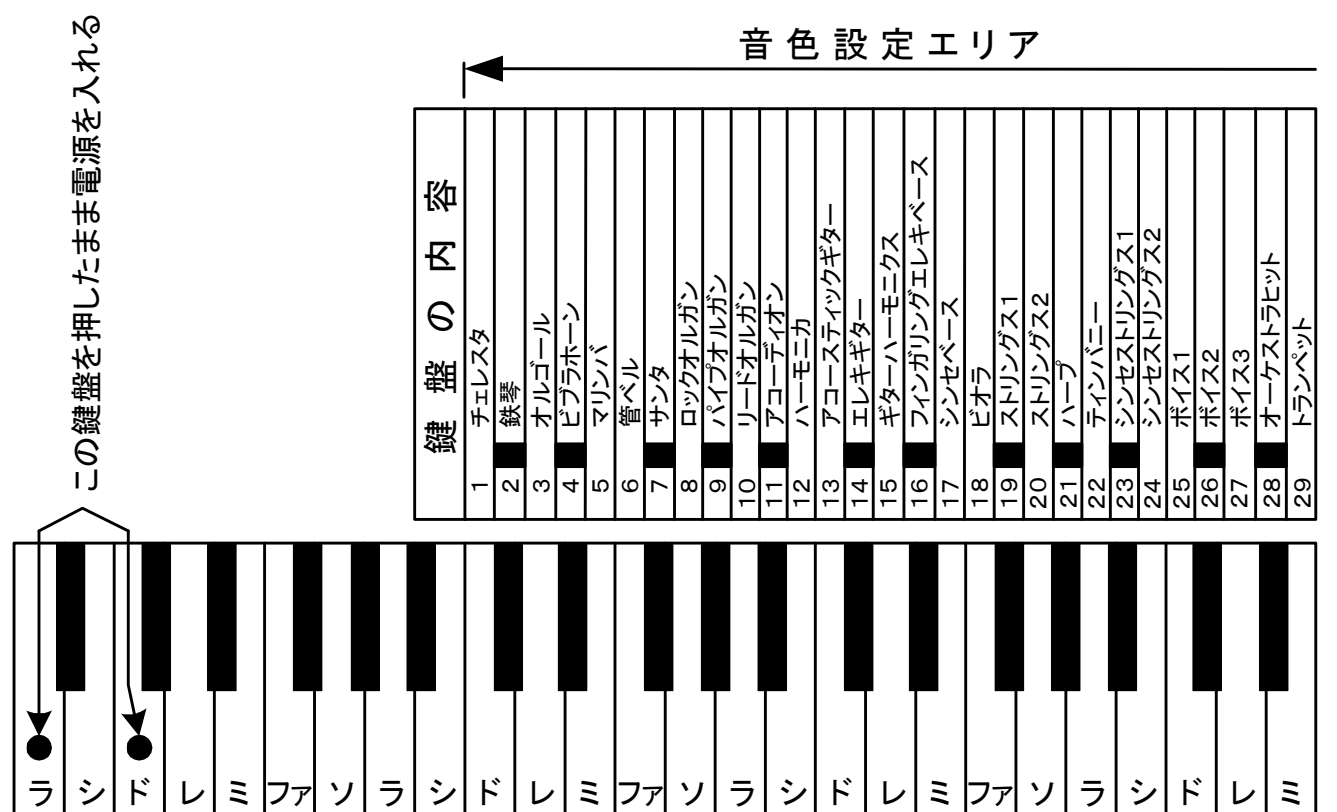
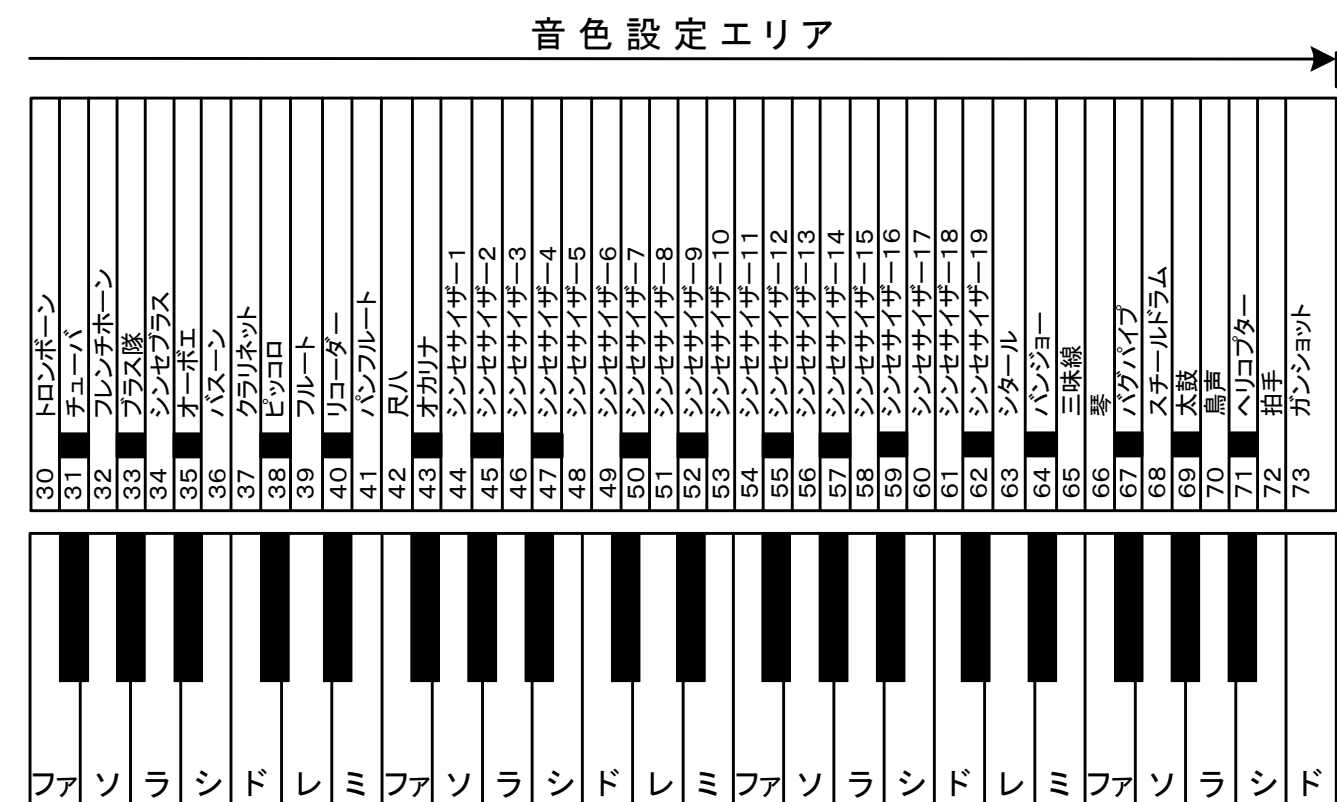
音色選択ボタンを押す度に、音色が変化します。
ピアノ１　→ ピアノ２ → ホンキートンク → エレクトリックピアノ →
ハープシコード → オルガンの順番で変化し、ピアノ１に戻ります。

鍵盤設定方法（７３音色からの選択）

（１）●印の鍵盤を押しながら、電源を入れます。音色設定モードになったこと
　　をチャイム音でお知らせます。尚、●印の鍵盤は押さえたまま次の操作に
　　移ります。

（２）次頁鍵盤表の｀音色設定エリア´より好みの音色を選択します。

（１）●印の鍵盤から指を離します。この時、選択した最後の音色が
　　設定されます。

[注意！]設定した音色は電源を切るとピアノ１に戻ります。

７．メトロノームを使う

メトロノーム音のＯＮ／ＯＦＦ、拍子やテンポ、メトロノームの音量といった各設定を行います。

メトロノームを鳴らす／止める

（２）メトロノームボタンを押すとメトロノームランプが点灯して、メトロノームが鳴り始めます。

（３）メトロノームを止める場合は、メトロノームボタンをもう一度押して下さい。

メトロノームの設定

（１）メトロノームランプが点滅するまで、メトロノームボタンを長押しすると、メトロノームが鳴り始めます。

（２）次頁鍵盤表の｀拍子エリア´から拍子を選択します。

（３）次頁鍵盤表の｀テンポエリア´からテンポを選択します。
テンポエリアは１０の位と１の位に分かれており、はじめに１０の位の設定を、次に１の位をそれぞれ設定します。設定できるテンポは３０～１９９の範囲です。

（４）次頁鍵盤表の｀音量エリア´からメトロノームの音量を選択します。

（５）もう一度メトロノームボタンを押すと、メトロノームランプが点滅から点灯に変わり、設定が確定されます。尚、メトロノーム音は鳴り続けます。

［注意！］ 設定した内容は電源を切っても保持されます。

【鍵盤表】

鍵盤右端

鍵盤	内容
ファ	TEMPO 130
ソ	TEMPO 140
ラ	TEMPO 150
シ	TEMPO 160
ド	TEMPO 170
レ	TEMPO 180
ミ	TEMPO 190
ファ	
ソ	
ラ	
シ	
ド	TEMPO +1
レ	TEMPO +2
ミ	TEMPO +3
ファ	TEMPO +4
ソ	TEMPO +5
ラ	TEMPO +6
シ	TEMPO +7
ド	TEMPO +8
レ	TEMPO +9
ミ	
ファ	音量 小さい
ソ	音量
ラ	音量（出荷設定）
シ	音量
ド	音量 大きい

テンポエリア（10の位）　テンポエリア（1の位）　音量エリア

8．録音と再生

演奏した内容の録音と再生が行えます。連弾や反復練習などに便利です。

8-1 録音

使用方法

（１）音色選択ボタンで好みの音色に選択します。

（２）録音したいバンクの鍵盤を押しながら、録音/再生ランプが点滅するまで、約１秒以上録音/再生ボタンを長押しします。これで、録音の準備が完了しました。

（３）演奏を行います。演奏が始まると同時に録音を開始します。

（４）演奏が終了したら、録音/再生ボタンを押します。押すと同時に録音/再生ランプが消灯して、選択されたバンクに録音されます。

録音データ消去

録音した内容は、バンクを選択し、右ペダルを踏みながら録音/再生ボタンを約１秒以上長押しすることでチャイムが鳴り、消すことができます。また、「１０－８設定を初期化する」を行われた場合、録音データは全て消去されます。

［注意！］

・ バンク数は１０バンクです。録音したバンクに新たに録音操作を行うと前回の録音内容は消えてしまいます。

・ 録音中の音色切り替えは出来ません。

・ 録音される内容は、演奏情報とペダル操作及び、選択された音色です。メトロノームは録音されません。

・ 録音容量は１バンク約１０．０００音ですが、ペダル操作も含みます。録音中に録音容量がいっぱいになると、録音は自動停止されます。

・ 録音した内容は電源を切っても保存されます。

８－２ 再生

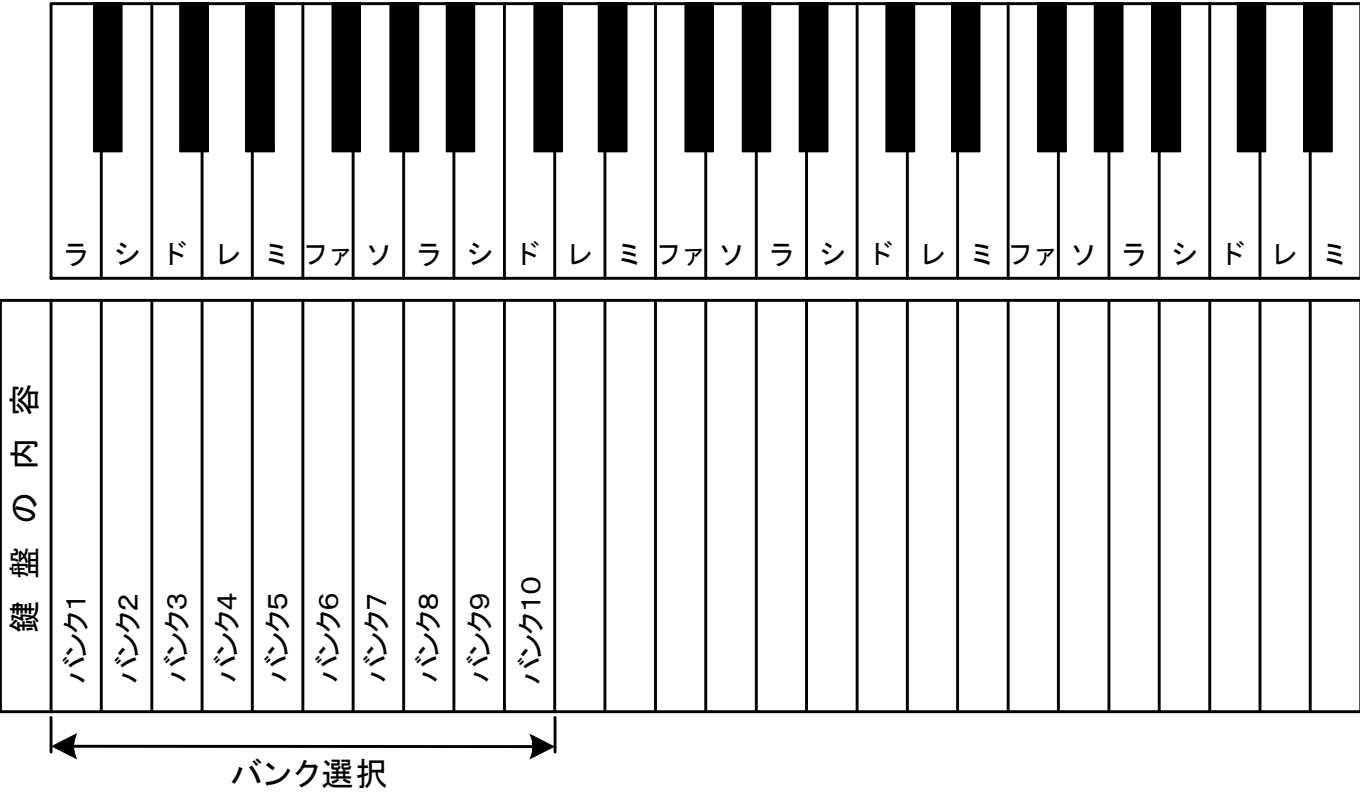
使用方法

（１）再生したいバンクの鍵盤を押しながら録音/再生ボタンを押して、約１秒以内に離します。約１秒以上押し続けると録音準備の状態になりますので注意して下さい。

（２）ボタンを離した時点で録音/再生ランプが点灯して、約１秒後に演奏が再生されます。再生中も鍵盤からの演奏が可能です。

［注意！］ 再生中は次頁の変速エリア内の鍵盤は操作部となる為、弾いても音は出ません。

（３）再生を終了したい時は、録音/再生ボタンをもう一度押します。
押すと同時に録音/再生ランプが消灯して、再生が止まります。

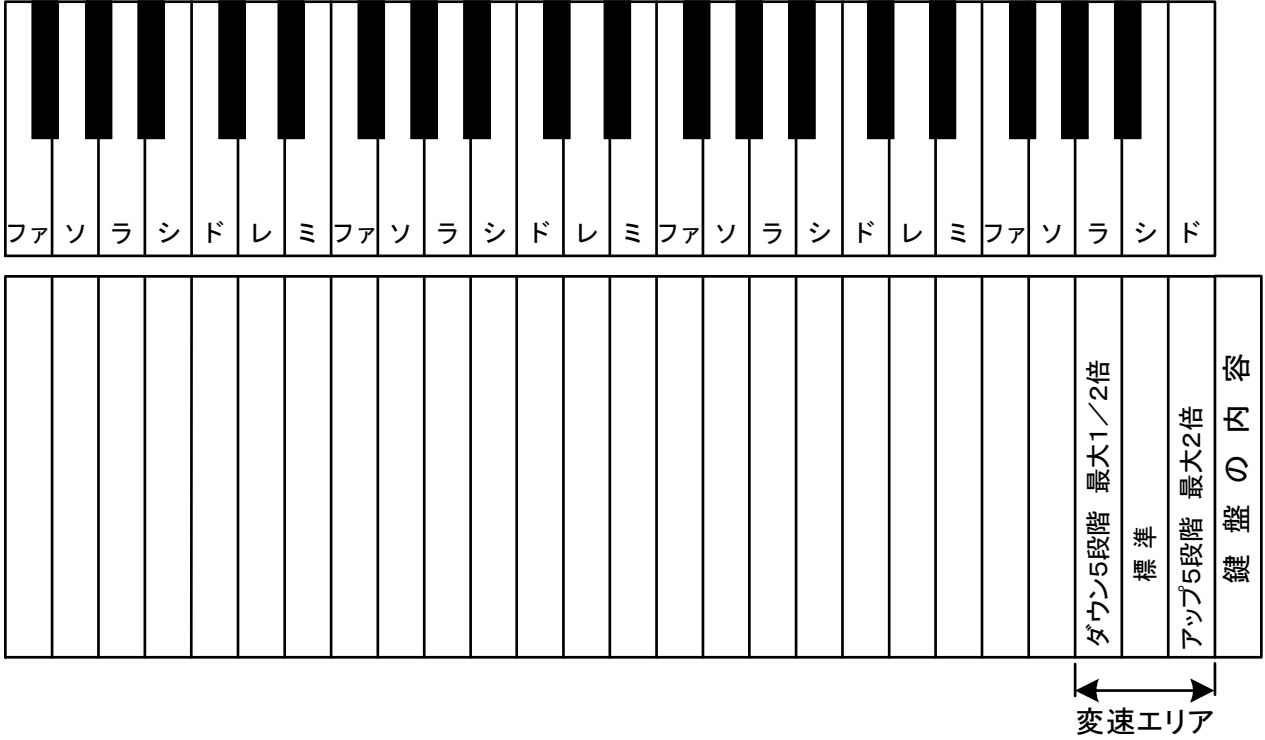
※再生速度０．５倍～２倍まで変更できます（次頁の変速再生をご覧下さい）。

変速再生

録音した演奏は再生速度を変えて聴くことができます。変速範囲は録音した演奏を標準として、０．５倍～標準～２倍まで±５段階です。

段階	－５	－４	－３	－２	－１	±０	＋１	＋２	＋３	＋４	＋５
速度	０．５	０．６	０．７	０．８	０．９	１．０	１．２	１．４	１．６	１．８	２．０
	遅い ←					標準					→ 速い

設定方法

（１）録音/再生ボタンを押して録音した演奏を再生します。

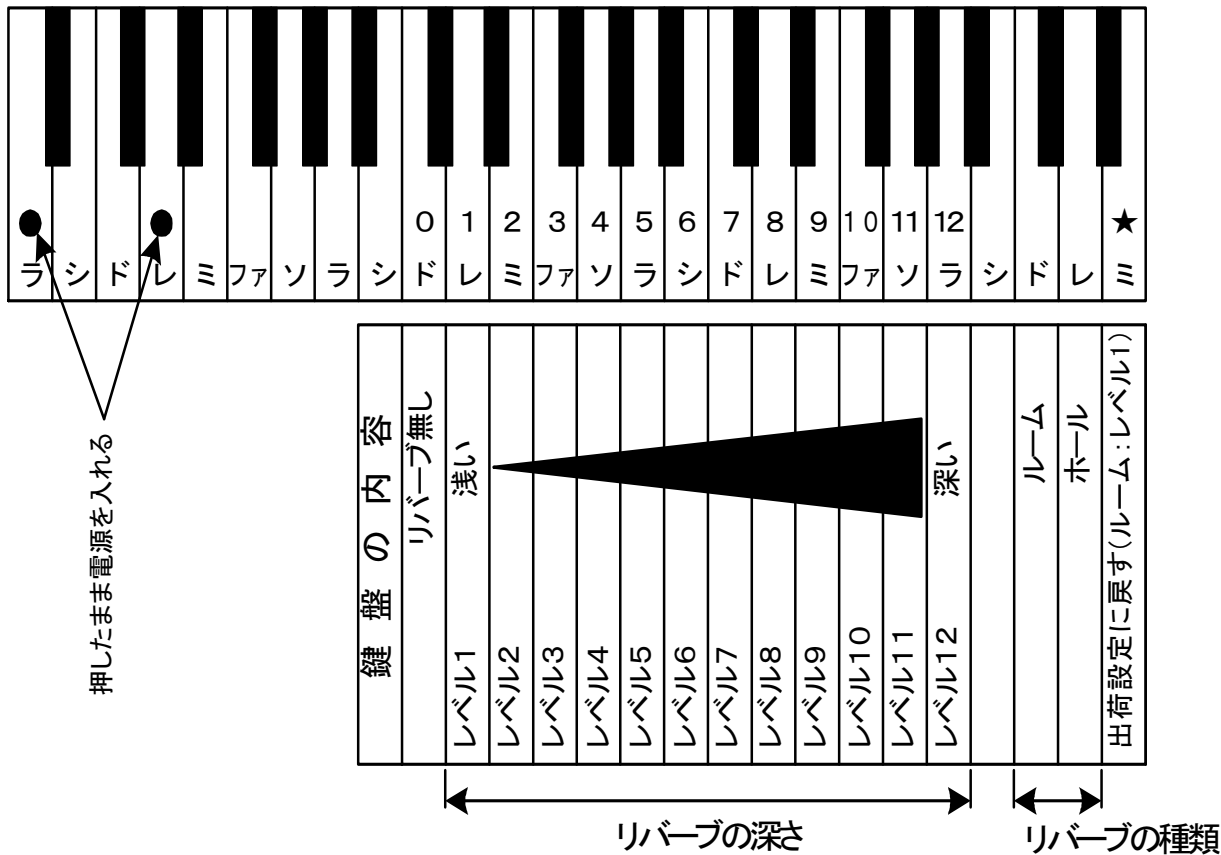
（２）下記鍵盤表の｀変速エリア´よりアップ鍵盤、ダウン鍵盤を操作してお好みの速度で再生して下さい。

９．リバーブ設定

リバーブ（音の残響）を好みの種類と深さに設定できます。リバーブの種類には、ルーム（室内の響き）、ホール（コンサートホールの響き）があります。

設定方法

（１）●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。リバーブ設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、●印の鍵盤は押さえたまま次の操作に移ります。

（２）下記鍵盤表より｀リバーブの種類´（ルームタイプかホールタイプ）と｀リバーブの深さ´を選択します。種類と深さはどちらからでも設定が可能です。また、★印の鍵盤を押すことで出荷設定（ルーム：レベル１）に戻すことができます。

（３）●印の鍵盤から指を離します。この時、（２）で選択した最後のリバーブの種類と深さが設定され、電源を切っても変更されません。

１０．設定と調整

必要に応じてＳＰＲ－７００の設定を変更することができます。

［注意！］　取り付け完了後、調律師の方がお客様のピアノに合わせて設定の変更を行います。また、「１０－１０　設定を初期化する」を実施されますと、通常の動作をしなくなりますので、ご自身で設定を変更される場合や、初期化をされる場合は、事前にお買い上げ店へご相談ください。

１０-１ チューニング

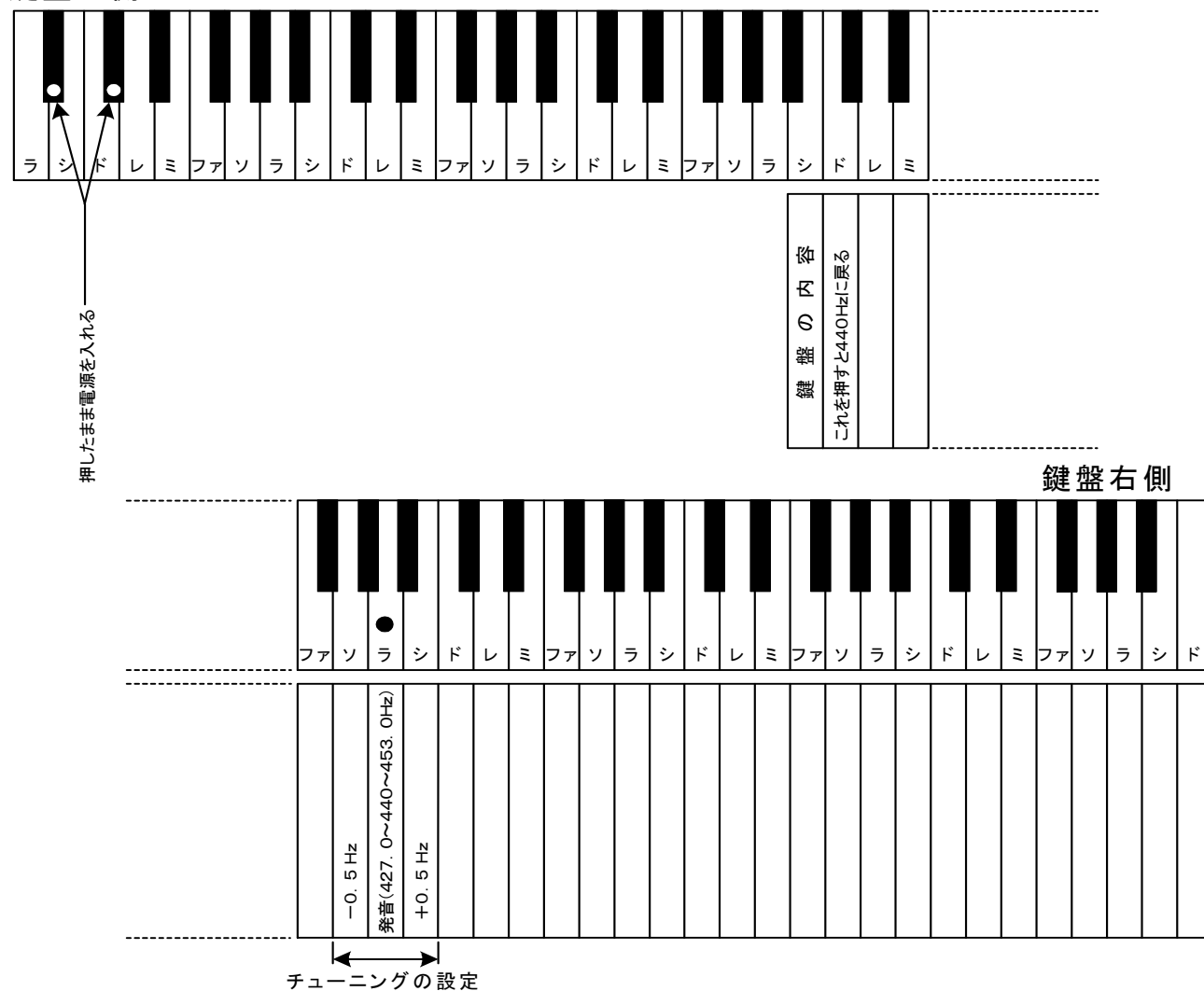
設定方法

（１）〇印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、〇印の鍵盤は押さえたまま次の操作に移ります。

（２）下記鍵盤表の｀チューニングの設定´より●印の鍵盤にて本機が発音する音程を、＋１、－１の鍵盤を使って設定します。

＋１の鍵盤は１回の打鍵毎に約０．５Ｈｚ（最大＋１３Ｈｚ）
－１の鍵盤は１回の打鍵毎に約０．５Ｈｚ（最大－１３Ｈｚ）

（３）チューニングが終了したら、〇印の鍵盤から指を離します。この時、最後に合わせた音程が設定され、電源を切っても変更されません。

【鍵盤表】

１０-２ センサー調整

メンテナンス等でキーボードユニットやペダルユニットのセンサー感度を再調整する必要がある場合に実施します。

設定方法

（１）音色選択ボタン、録音/再生ボタンを同時に押しながら電源を入れます。メトロノームランプと録音/再生ランプが交互に点滅して、調整モードになったことをチャイムでお知らせします。

（２）鍵盤を一番深い位置まで一定の強さで全ての鍵盤を打鍵します。鍵盤が戻る時に発音されますので、確認できましたら次の鍵盤を打鍵します。打鍵する順番は問いません。尚、再調整が必要な鍵盤だけでも調整は可能です。

（３）ペダルを一番深い位置までゆっくり踏み込みます。ペダルが戻る際にピアノ音色以外の音が鳴りますので、確認できましたらもう片方のペダルを踏み込みます。踏み込む順番は問いません。尚、再調整が必要なペダルだけでも調整は可能です。

（４）打鍵や踏み込みが完了しましたら、録音/再生ボタンを押します。メトロノームランプと録音/再生ランプが消灯して、調整モードが終了したことをチャイムでお知らせします。

［注意！］ 必ず録音/再生ボタンを押して、センサー調整を終了します。
誤って電源ボタンを押された場合、センサー調整は完了していませんので、最初からやり直します。

１０-３ センサー自動調整

鍵盤センサーの感度を自動で調整します。もし、発音に違和感がある場合は、機能を無効にして下さい。

※出荷設定では機能が有効になっています。

設定方法

（機能を無効にする場合）
●印と〇印の鍵盤を押しながら電源を入れます。機能が無効になったことをチャイムでお知らせします。

（機能を有効にする場合）
●印と●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。機能が有効になったことをチャイムでお知らせします。

１０-４ タッチ調整

ピアノの種類や型式によって、鍵盤の動きやすさが異なり、ピアニシモからフォルテシモまでの変化が出にくい場合がありますので、ピアノに合わせて調整して下さい。鍵盤の動きが遅い（重い）場合は１または２を、速い（軽い）場合は４または５に合わせます。尚、ＳＰＲ－７００はヤマハのＵ３型を基準としています。

設定方法

（１）〇印と●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。調整モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、〇印と●印の鍵盤は押したままで次の操作に移ります。

（２）下記鍵盤表より、適切なタッチ感になる｀タッチ調整範囲´を選択します。代表的な例として、下記を目安に調整して下さい。
ヤマハ製　　：３～４
カワイ製　　：２～３
中国製など　：４～５

（３）タッチ調整範囲の選択が終了したら、〇印と●印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択したタッチ調整に設定され、電源を切っても変更されません。

１０−５ ペダル調整

各種ペダルの機能がオンする深さを調整します。

設定方法

（１）〇印と●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。調整モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、〇と●の鍵盤は押さえたまま次の操作に移ります。

（２）調整するペダルを踏み、機能をオンさせたい深さで止めます。

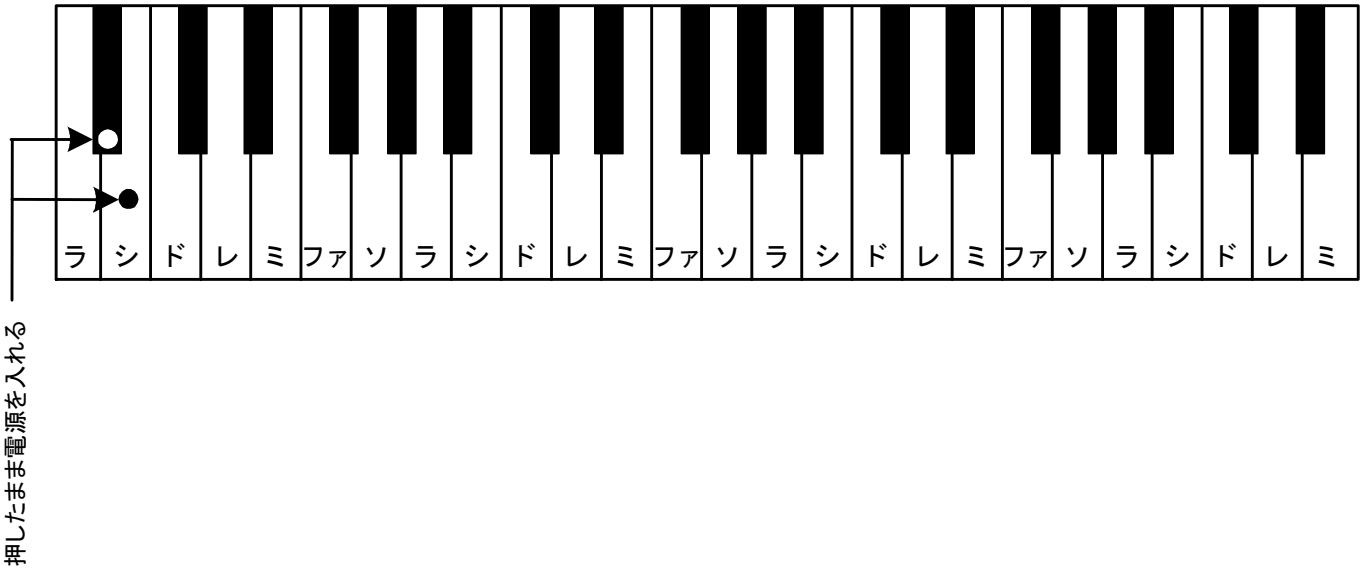
（３）そのままの状態でペダルに対応しているボタンを押します。
チャイムが鳴り、ペダルの深さを記憶します。

（４）〇印と●印の鍵盤から指を離します。

対応ボタン

ダンパー(サスティーン)ペダル	録音/再生ボタン
ソフトペダル	音色選択ボタン

鍵盤左側

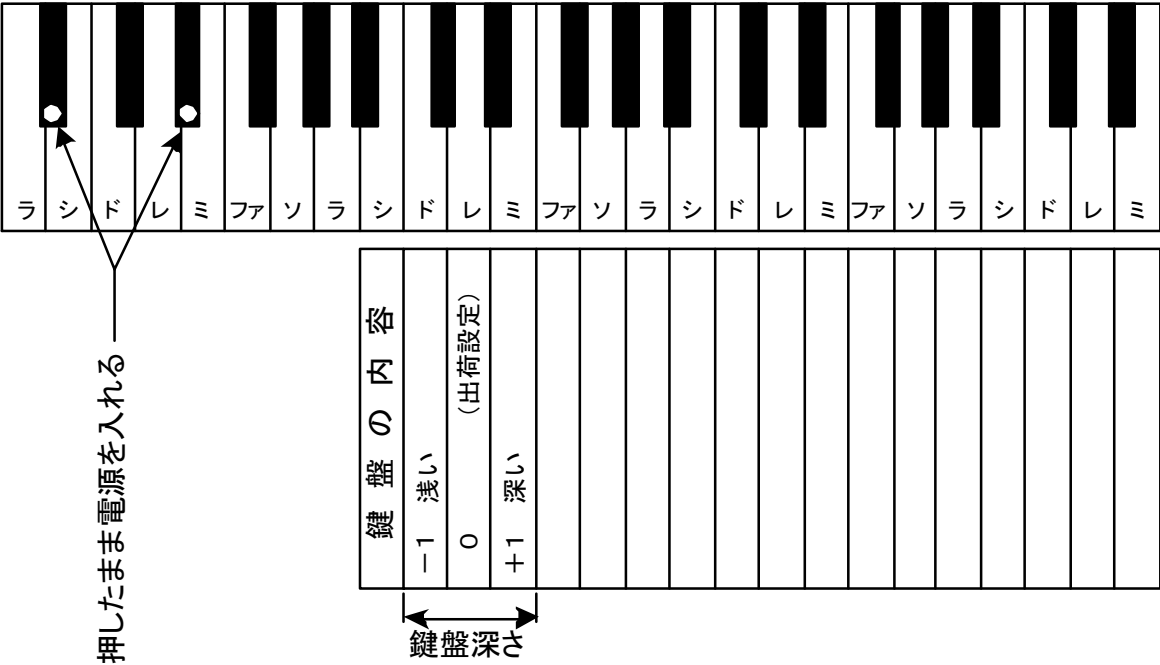
押したまま電源を入れる

１０−６ 鍵盤深さ設定

鍵盤を弾いたときの発音する鍵盤の深さを設定します。

設定方法

（１）〇印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、〇印の鍵盤は押したままで次の操作に移ります。

（２）下記鍵盤表より、発音させたい深さの鍵盤を押します。

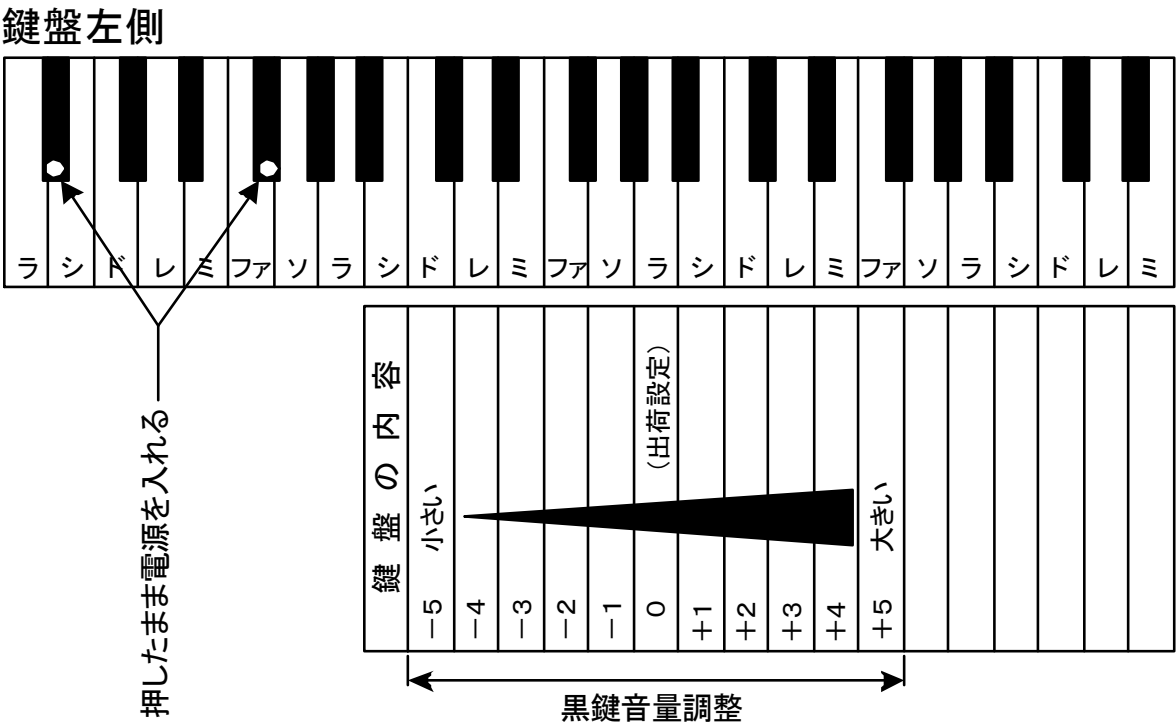
（３）〇印の鍵盤から指を離します。この時、選択した鍵盤の深さが設定されます。

１０-７ 黒鍵音量調整

白鍵と黒鍵の音量バランスを調整することができます。

設定方法

（１）○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印の鍵盤は押したままで次に操作に移ります。

（２）下記鍵盤表より、白鍵音量に合った｀黒鍵音量´を選択します。

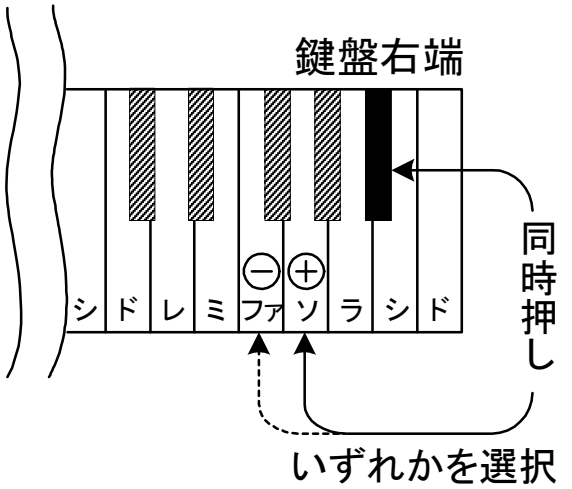
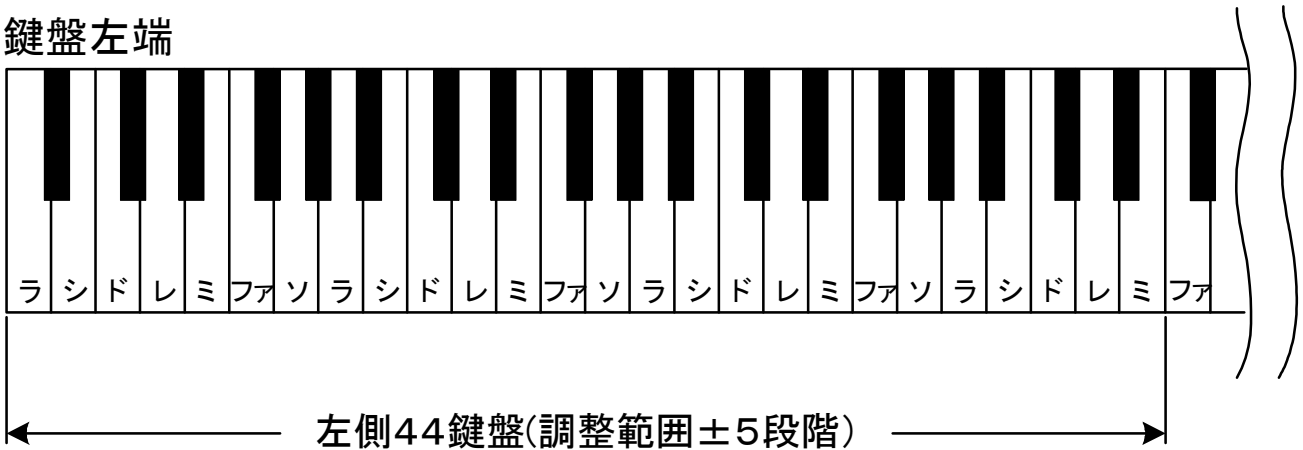
（３）黒鍵音量の選択が終了したら、○印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択した黒鍵音量に設定され、電源を切っても変更されません。

１０-８ 鍵盤ごとのレベル調整（左４４鍵盤）

左側の４４鍵盤において鍵盤ごとに音量レベルの調整ができます。
各鍵盤の調整範囲は±５段階です。（出荷設定±０）

設定方法

（１）レベルを上げたい時は黒鍵と＋印の白鍵を押しながら電源を入れます。
レベルを下げたい時は黒鍵と－印の白鍵を押しながら電源を入れます。
設定モードになったことをチャイムお知らせします。尚、黒鍵と白鍵は押したままで次の操作に移ります。

（２）左側の４４鍵盤より、音量レベルの変更をしたい鍵盤を押します。
１度押されることで、音量レベルが（１）で選択した側に１段階変更されます。

（３）変更を終了したら、押したままの鍵盤から指を離します。この時、変更した値が設定され、電源を切っても変更されません。

１０-９ 鍵盤ごとのレベル調整（右４４鍵盤）

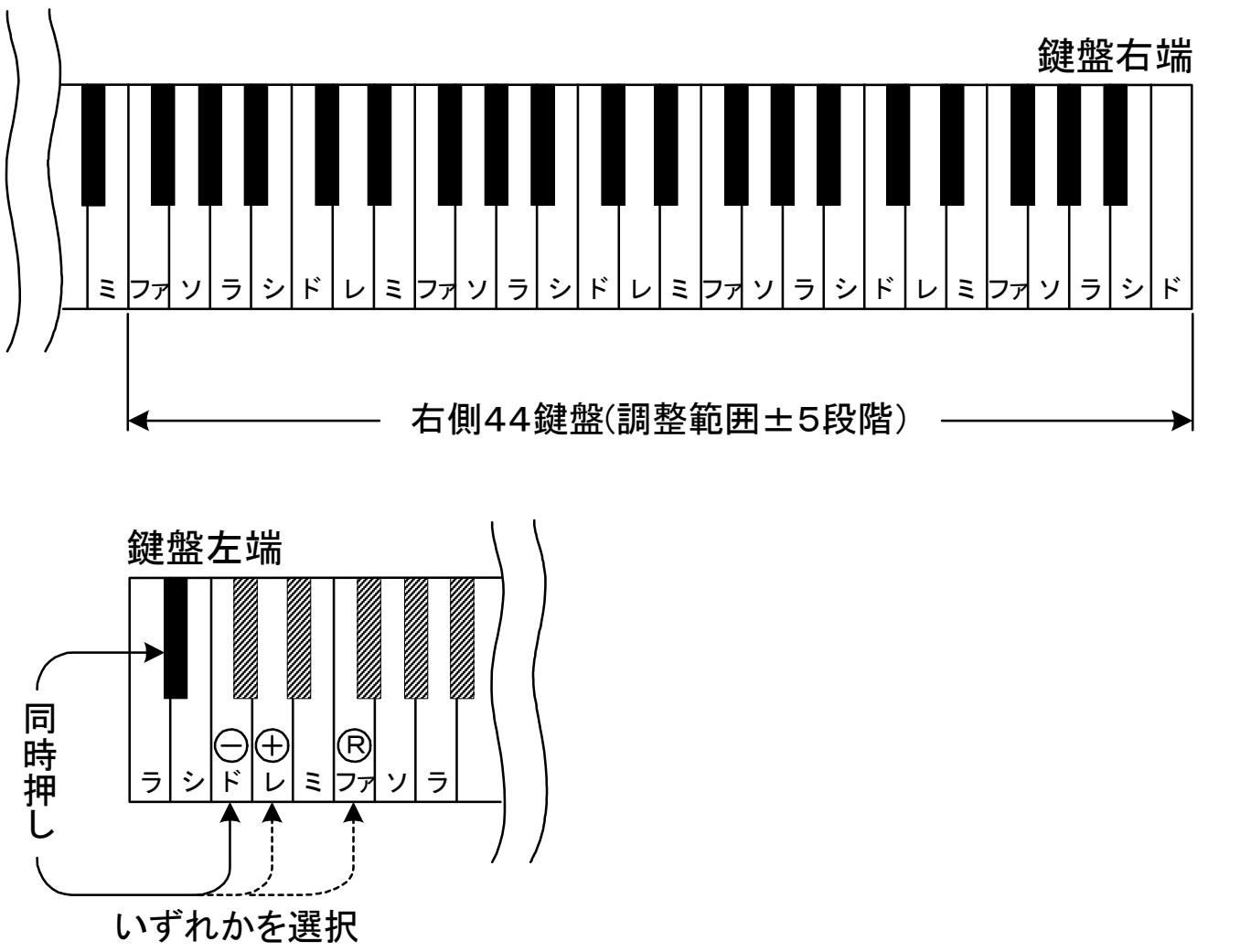
右側の４４鍵盤において鍵盤ごとに音量レベルの調整ができます。
各鍵盤の調整範囲は±５段階です。（出荷設定±０）

設定方法

（１）レベルを上げたい時は黒鍵と＋印の白鍵を押しながら電源を入れます。
レベルを下げたい時は黒鍵と－印の白鍵を押しながら電源を入れます。
設定モードになったことをチャイムお知らせします。尚、黒鍵と白鍵は押したままで次の操作に移ります。

（２）右側の４４鍵盤より、レベルの変更をしたい鍵盤を押します。
１度押されることで、音量レベルが（１）で選択した側に１段階変更されます。

（３）変更を終了したら、押したままの鍵盤から指を離します。この時、変更した値が設定され、電源を切っても変更されません。

全８８鍵盤の調整内容をリセットしたい時は、黒鍵とＲ印の白鍵を押しながら電源を入れることで出荷設定（±０）に戻ります。

１０-１０ 設定を初期化する

全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

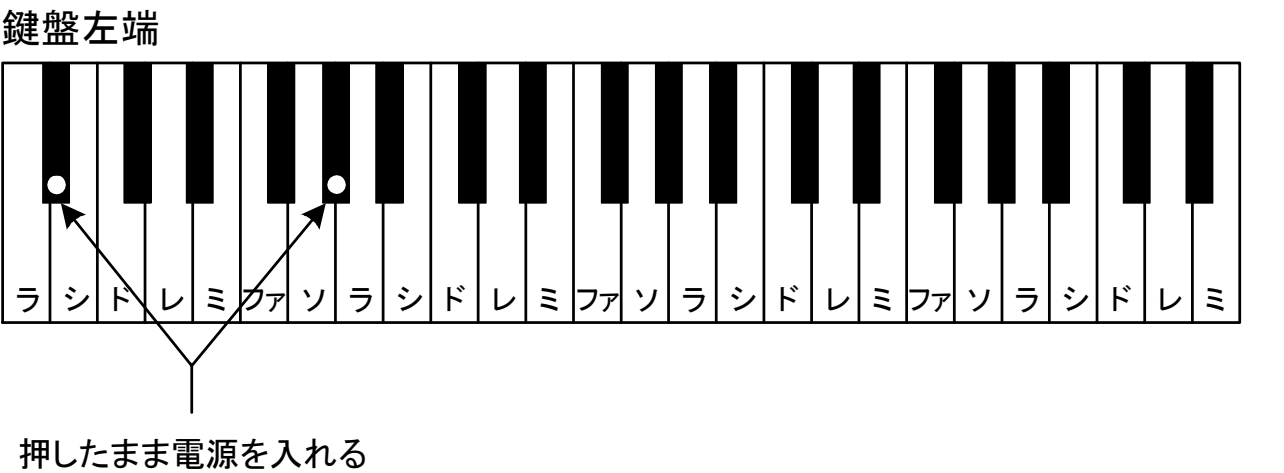
［注意！］ 本設定を行いますと正常に動作しなくなります。復帰させるには初期設定が必要ですので、実施される前に必ずお買い上げ店へご相談下さい。
初期化を実施した場合には、次頁の初期設定を実施して下さい。また、タッチ調整も実施して下さい。

出荷設定内容

項目	設定
音色	ピアノ１
リバーブ	ルーム＝レベル１
メトロノーム	拍子＝４、テンポ＝８０、音量＝レベル３
録音曲	全て消去
チューニング	４４０Ｈｚ
初期設定	クリア
センサー調整	クリア
センサー自動調整	有効
ペダル調整	クリア
鍵盤深さ設定	０
タッチ調整	３
黒鍵音量調整	０
鍵盤ごとのレベル調整	全８８鍵盤±０

設定方法

（１）〇印の鍵盤を押しながら電源を入れます。初期化開始したことをチャイムでお知らせし、メトロノームランプと録音/再生ランプが点滅します。

（２）〇印の鍵盤から指を離し、メトロノームランプと録音/再生ランプの点滅が完了した後、電源を切ります。

初期設定操作方法

（１）設定を初期化した後、電源を入れるとメトロノームランプと録音/再生ランプが交互に点滅して、初期設定モードになったことをチャイムでお知らせします。

（２）鍵盤を一番深い位置まで一定の強さで全ての鍵盤を打鍵します。鍵盤が戻る時に発音されますので、確認できましたら次の鍵盤を打鍵します。

（３）ペダルを一番深い位置までゆっくりと踏み込みます。ペダルが戻る際にピアノ音色以外の音が鳴りますので、確認できましたらもう片方のペダルを踏み込みます。

（４）全鍵盤の打鍵と両ペダルの踏み込みが完了しましたら、録音/再生ボタンを押します。メトロノームランプと録音/再生ランプが消灯して、初期設定モードが終了します。

（５）打鍵されていない鍵盤、踏み込まれていないペダルがあればチャイム音は鳴らずに、鍵盤は音程で、ペダルはピアノ音色以外の音が鳴るので、音程の打鍵やそのペダルを踏み込んで、再度録音/再生ボタンを押して下さい。

［注意！］ 設定を初期化するとタッチ調整も初期化されるため、ピアノに合わせて再度調整して下さい。

１１．ＭＩＤＩ

オプションの専用ＭＩＤＩケーブルを使用してパソコンやＭＩＤＩ機器との接続が可能です。

・パソコン接続用　　：ＳＰＲ－UMC
・ＭＩＤＩ機器接続用：ＳＰＲ－ＭＩＣ

（パソコンと接続する）
接続することでパソコンのＭＩＤＩデータをＳＰＲ－７００の音源で鳴らすことができます。また、ＳＰＲ－７００で演奏した情報をＭＩＤＩデータとしてパソコンに送信して、データの編集や保存ができます。

（ＭＩＤＩ機器と接続する）
接続することでＭＩＤＩ機器によって演奏したＭＩＤＩデータをＳＰＲ－７００の音源で鳴らすことができます。また、ＳＰＲ－７００で演奏したＭＩＤＩデータをＭＩＤＩ機器の音源で再生することができます。

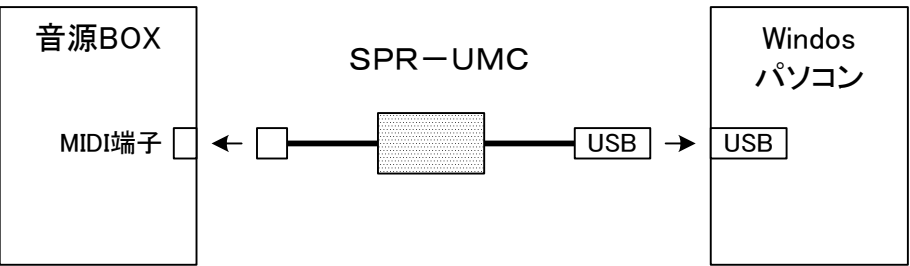
ＭＩＤＩチャンネルの仕様

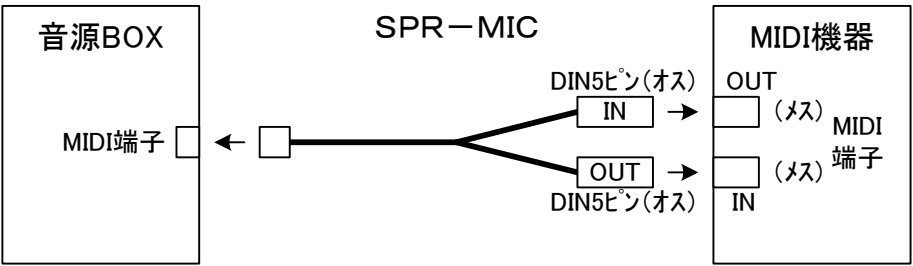
ＳＰＲ－７００では、鍵盤による演奏データをＭＩＤＩチャンネル１へ出力しています。また、録音したデータの再生はＭＩＤＩチャンネル２を使用しています。外部ＭＩＤＩ機器からＳＰＲ－７００へＭＩＤＩデータを送る際は、チャンネル１と２を避けてＭＩＤＩメッセージを送信して下さい。
チャンネル１にデータを入力して音色が変更された場合は、音色選択ボタンの再投入を行えば、元の音色に戻すことができます。

ＭＩＤＩとは

Ｍｕｓｉｃａｌ Ｉｎｓｔｒｕｍｅｎｔ Ｄｉｇｉｔａｌ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅの略で、楽器の演奏情報や音色の切り換え情報などを伝送することができる世界統一の規格です。
ＳＰＲ－７００はGM（Ｇｅｎｅｒａｌ ＭＩＤＩ）スタンダードに準拠しており、市販のGM対応演奏データなどをＭＩＤＩ機器より演奏することができます。

パソコンとの接続例

音源ＢＯＸのＭＩＤＩ端子とパソコンを接続します。
接続すると自動的にＭＩＤＩドライバがインストールされます。
(Ｗｉｎｄｏｗｓ対応ＯＳ：ＸＰ、ＶＩＳＴＡ、７)

ＭＩＤＩ機器との接続例

音源ＢＯＸのＭＩＤＩ端子とＭＩＤＩ機器を接続します。

１１-１ ＭＩＤＩインプリメンテーションチャート

ファンクション		送　信	受　信	備　考
ベーシック	電源ＯＮ時	１	１－１６	
チャンネル	設定可能	×	１－１６	
	電源ＯＮ時	３	３	
モード	メッセージ	×	×	
	代用	＊＊＊＊＊＊＊＊		
ノート		２１－１０８	０－１２７	
ナンバー:	音域	＊＊＊＊＊＊＊＊	０－１２７	
ベロシティ	ノート・オン	○	○	
	ノート・オフ	×	×	
アフター	キー別	×	×	
タッチ	チャンネル別	×	○	
ピッチ・ベンド		×	○	
コントロール	６４	○	○	ダンパーペダル
チェンジ	６６	×	○	ソステヌートペダル
	６７	○	○	ソフトペダル
	００		○	バンクセレクト
	０１		○	モジュレーション
	０５		○	ポルタメントタイム
	０６		○	データエントリ
	０７		○	ヴォリューム
	１０		○	パン
	１１		○	エクスプレッション
	６５		○	ポルタメント オン／オフ
	９１		○	リバーブ
	９３		○	コーラス
	１２０		○	オール サウンド オフ
	９８，９９		○	ＮＲＰＮ ＬＳＢ，ＭＳＢ
	１００，１０１		○	ＲＰＮ ＬＳＢ，ＭＳＢ
プログラム		○	○	
チェンジ:設定可能範囲		＊＊＊＊＊＊＊＊	０-１２７	
エクスクルーシブ		○	○	
	:ソング・ポジション	×	×	
コモン	:ソング・セレクト	×	×	
	:チューン	×	×	
リアル	:クロック	×	×	
タイム	:コマンド	×	×	
	:ローカルＯＮ／ＯＦＦ	×	×	
その他	:オール・ノートオフ	×	○	
	:アクティブセンシング	×	×	
	:リセット	×	×	
備　考				

モード１：オムニ・オン、ポリ　　モード２：オムニ・オン、モノ　　○：あり
モード３：オムニ・オフ、ポリ　　モード４：オムニ・オフ、モノ　　×：なし

１２．本体仕様

同時最大発音数		９０音
音 色 選 択		ピアノ１、ピアノ２、ホンキートンクピアノ、ハープシコード、 エレクトリックピアノ、オルガン その他（７３音色から選択可能）
リ バ ー ブ		ルーム、ホール（残響量選択可能）
メトロノーム		拍子：なし、２、３、４、５、６、８ テンポ：３０～１９９
録音・再生		録音：１０バンク､録音容量 約１０，０００音/バンク 再生：変速再生（０．５～２倍）
チューニング		±１３Ｈｚ（４２７～４４０～４５３Ｈｚ）
ペダル調整		ＯＮ／ＯＦＦ位置調整
鍵盤深さ設定		３段階調整
タッチ調整		５段階調整
黒鍵音量調整		±５段階調整
鍵盤ごとのレベル調整		±５段階調整
デ モ 演 奏		１０曲
外 部 端 子	アナログ	ヘッドホンジャック×２、ライン出力×１
	デジタル	ＭＩＤＩ（ＩＮ／ＯＵＴ）オプションケーブル使用
電 源 電 圧		ＤＣ＋９Ｖ　０．４Ａ（専用ＡＣアダプタ）
付　属　品		ヘッドホン、ＡＣアダプタ、取扱説明書（本書）
オプション		ＵＳＢ－ＭＩＤＩケーブル、ＭＩＤＩケーブル、スピーカ

●製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

１３．故障かな？と思ったら

●メトロノームランプと録音/再生ランプ点滅のまま全く動作しない

・初期設定状態ですので、全鍵盤をフォルテでの打鍵と全ペダルの踏み込みを行った後、録音/再生ボタンを押して下さい。

●電源が入らない

・ＡＣアダプタはコンセントに差し込まれていますか？
・音源ＢＯＸ裏のＤＣ ＩＮにＡＣアダプタジャックが差し込まれていますか？
・音源ＢＯＸのインジケータは点灯していますか？
・それでも電源が入らない場合は、ＡＣアダプタをコンセントから抜き、修理をお買い上げ店へ依頼して下さい。

●音が鳴らない

・鍵盤を弾いて音源ＢＯＸのインジケータが点滅しますか？
・ボリュームが最小になっていませんか？
・ヘッドホンジャックは最後まで差し込まれていますか？

●特定の鍵盤で音が鳴らない、大きい、小さい

・センサー調整がずれている可能性がありますので、センサー調整を行ってみて下さい。それでも直らない場合は、お買い上げ店へご相談下さい。

●音が抜ける

・ダンパー（右）ペダルを踏みながら、多くの鍵盤を弾く場合などに同時発音数が足りなくなり音が消えることがあります。これは故障ではありません。

●チャイム音が鳴らない

・指定された以外の鍵盤も押されたまま電源を入れていませんか？
・押さえたままの鍵盤から指が離れていませんか？

●消音していてもピアノから生音がもれる

・ストップレバーを手前に引いていますか？
・和音を強く弾かれた場合に、ピアノの音がもれることがあります。

●ペダルの機能がオンしたまま、オンしない

・センサー調整やペダル調整がずれている可能性がありますので、センサー調整やペダル調整を行ってみて下さい。それでも直らない場合は、お買い上げ店へご相談下さい。

１４．末永くご使用頂くために

本製品の性能を損なうことなく、末永くご使用頂くために、ピアノの「調律」や
「整調」と同様に、下記のお手入れを定期的に取り付けの技術者や調律師の方へ
ご依頼いただきますようお願いします。

１．　キーボードユニットやペダルユニットのセンサー部の清掃
２．　キーボードユニットの高さ調整やペダルユニットの位置調整
３．　キーボードユニットやペダルユニットのセンサー調整

１５．アフターサービス

ご購入後、下記の期間、正常な使用方法において発生した故障につきましては、
無償で修理いたします。故障した場合にはお買い上げになった販売店へご連絡下さい。

	保証期間
本　　体	１年間
ヘッドホン	６ヶ月
ＡＣアダプタ	６ヶ月